# 保育所における自己点検・自己評価

令和4年度

※　今年度の本園の保育・教育全般を総合的に評価し、次年度の保育計画に生かせる方向で記入してください。

［記入方法］

- A、B、C、Dの４段階評価です。該当する欄に◯を付けてください。
- 項目ごとに、意見・改善策を記述してください。

A　：　たいへんよい
B　：　よい
C　：　一部検討を要する
D　：　改善を要する

## ◎　保育の計画の編成と実施に関する評価

| 項　目 | 内　容 | 評　価 | | | | 意見・改善策 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | A | B | C | D | |
| 保育目標について | (1) 保育目標の具現化に向け、乳幼児の実態を踏まえた重点目標を設定しているか。 | ○ | | | | 第三者評価や指導監査を受けることで、これまでの実践を振り返るきっかけとなった。<br>感染症対策を前提として目標や計画を設定し、随時見直しを行ってきた。 |
| | (2) 目標は、各施設や地域の特色を生かしているか。 | ○ | | | | |
| | (3) 目標は、社会の要請や保護者の願いを反映しているか。 | ○ | | | | |
| | (4) 目標は、前年度の反省を生かしているか。 | ○ | | | | |
| | (5) 目標は、全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか。 | | ○ | | | |
| 保育について | (1) 指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか。 | ○ | | | | 感染状況を踏まえながら、計画を実行した。<br>保育室内の環境設定については感染状況に加えて、園児の成長具合を把握しながら、子どもたちが分散して遊びなどに集中できる環境設定を心掛けた。 |
| | (2) 保育所保育指針に基づく援助・支援を適切に行なっているか。 | ○ | | | | |
| | (3) 環境の構成を意識した保育や過程を常に工夫しているか。 | | ○ | | | |
| | (4) 素材・用具を適切に活用しているか。 | ○ | | | | |
| | (5) 評価結果をもとに、保育の改善に努めているか。 | ○ | | | | |
| 日時程 | (1) １日の流れ（デイリープログラム等）は現行でよいか。 | | ○ | | | 基本的な流れは変更せず、感染状況に応じて若干の変更等を行った。 |
| 行事について | (1) 行事の種類や実施回数は適切か。 | | ○ | | | 感染状況を把握しながら行事の計画し、実施した。短時間で密にならないことを原則とした。雨で中止となった行事があり、雨でも実施できる工夫が必要であった。 |
| | (2) 行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか。 | ○ | | | | |
| | (3) 乳幼児の活動範囲を明確にし、自主的・実践的な活動にしているか。 | ○ | | | | |
| | (4) 計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。 | ○ | | | | |
| | (5) 保護者の願いや意見を取り入れているか。 | ○ | | | | |

## ◎ 保育の計画の編成と実施を支える諸条件に関する評価

| 項目 | | 内容 | 評価 A | 評価 B | 評価 C | 評価 D | 意見・改善策 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 経営・組織 | 分掌・態勢 | (1) 能率的、効率的な運営組織になっているか。 | | ○ | | | 副主任やチーフ、行事担当者など自分の役割を意識して業務にあたる姿勢が見られるようになった。 |
| | | (2) 職務内容が明確で、協働できる体制になっているか。 | | ○ | | | |
| | | (3) 職員の配置は適材・適所か。 | ○ | | | | |
| | | (4) 係や仕事の分担・割り当ては適切か。 | ○ | | | | |
| | 運営 | (1) 各種会議を適切かつ効率的に進めているか。 | ○ | | | | 会議は短時間で効率良く行うよう心がけている。職員会議やパート職会議は主任を中心に、議題を整理して協議している。 |
| | | (2) 職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。 | | ○ | | | |
| | | (3) 打合せ回数、時間、内容は適切か。 | ○ | | | | |
| | 年齢別・クラス経営 | (1) 年齢別・クラス目標は、保育目標や重点目標に基づいて設定しているか。 | ○ | | | | 開設からの職員を核にしてクラスを編成している。担任間のコミュニケーションを大事にしている。<br>年に何回か他のクラスを担任する機会を設定し、子どもを見る観点を広げる機会としている。<br>感染状況を見ながら、異年齢集団での保育なども継続して行っている。 |
| | | (2) 年齢別・クラス目標は、乳幼児の実態に即して設定しているか。 | | ○ | | | |
| | | (3) 年齢別・クラス目標に迫る短期・長期のねらいは適切に徹底しているか。 | ○ | | | | |
| | | (4) 同年齢及び異年齢児間の効果的な活動の充実を図っているか。 | | ○ | | | |
| | | (5) 意義や趣旨を理解したティーム保育を行っているか。 | | ○ | | | |
| | | (6) 評価、資料（諸資料）を集積しているか。 | ○ | | | | |
| | 保健・安全指導 | (1) 年齢別・クラス経営に生かされるような具体的保健対策を講じているか。 | | ○ | | | 感染防止のため手洗いやうがいなど年齢に合わせた指導を行った。また、保育室やおもちゃの定期的な消毒等も行い感染防止に努めた。<br>避難訓練は計画通り実施した。<br>交通安全教室は感染拡大のため実施できなかった。 |
| | | (2) 避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施しているか。 | ○ | | | | |
| | | (3) 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭へ啓発を行っているか。 | | ○ | | | |
| | | (4) 乳幼児の安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っているか。 | ○ | | | | |
| 研究・研修 | 所内研究・研修 | (1) 研究主題は、保育目標の具現化につながるものであるか。 | | ○ | | | 園内研修については年間計画に基づいて各職員が講師となり行っている。<br>法人内の関東地区研修も行うことができて事業所間の共通理解を図ることができた。 |
| | | (2) 所内研修の計画・運営は適切か。 | ○ | | | | |
| | | (3) 研究の成果を日常の保育に生かし、乳幼児の育ちに反映させているか。 | | ○ | | | |
| | | (4) 研究の実践による乳幼児理解が深まりを見せているか。 | | ○ | | | |
| | 所外研究・研修 | (1) 各種研究会、研修会、講習会への参加態勢の充実を図っているか。 | ○ | | | | オンライン研修を積極的に受講した。特に、キャリアアップ研修の受講に重点を置いた。 |
| | | (2) 各種研究会、研修会、講習会での内容を所内に還元しているか。 | ○ | | | | |

| 項　目 | | 内　容 | 評　価 | | | | 意見・改善策 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | A | B | C | D | |
| 情報について | | (1) 乳幼児や保護者に関する個人情報を適切に取り扱っているか。 | ○ | | | | 毎年、個人情報の取扱について園内研修を行っている。<br>記録等の保管は適切に行われている。<br>写真の使用は保護者の意向に沿った形の範囲で行っ |
| | | (2) 公文書収受、発送、処理を適切に行っているか。 | ○ | | | | |
| | | (3) 各表簿は、適切な時間・方法で作成・処理しているか。 | ○ | | | | |
| 施設・設備 | | (1) 施設内外・設備の点検を計画的に行っているか。 | ○ | | | | 施設設備については定期的な点検を行い、不具合等にすみやかに対応するよう努めている。<br>不審者対応については、訓練を実施し、対策の充実に努めている。 |
| | | (2) 遊具・用具等を、活用しやすいように整理・保管しているか。 | | ○ | | | |
| | | (3) 不審者に対応する周到な配慮を行っているか。 | | ○ | | | |
| | | (4) 掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか。 | ○ | | | | |
| 出納経理 | | (1) 各種会計を適正かつ適切に処理しているか。 | ○ | | | | 本部の指導のもと適正な処理に努めている。 |
| 開かれた保育所づくり | 施設間交流・連携 | (1) 他施設等との年間交流計画は、保育目標や課題に添ったものになっているか。 | | ○ | | | 他施設等との交流については感染症拡大のため難しい状況うが続いたが、地域のデイケアとの直接交流は園児にとって貴重な体験となった。また、法人内施設とのオンライン交流を複数回実施することができ、新たな交流体験が出来た。 |
| | | (2) 他施設等の幼児児童生徒と触れ合う中で、(乳)幼児が楽しく過ごし充実感を味わうことができるような配慮や援助・支援を行っているか。 | | ○ | | | |
| | | (3) 指導者どうしが、打合せや事前研修・合同研修を行い、互いの保育・教育に対しての理解を深め、援助について共通理解を図っているか。 | | ○ | | | |
| | | (4) 参観や保育・授業等に参加するなどして、幼稚園・小学校の教育を理解しているか。 | | | ○ | | |
| | | (5) 日常的に情報を交換し、それを交流活動に生かしているか。 | | | ○ | | |
| | 家庭との連携・地域社会 | (1) 参観時間を制限せず、保護者以外も対象にした参観日等を設定しているか。 | | | ○ | | 感染症拡大防止のため、保育参観・参加については各家庭1名の参加で実施した。<br>感染症の心配はあったが、地域のスーパー等の協力を得て、買い物体験を継続して実施することが出来た。 |
| | | (2) 保護者を含む地域の人材活用の時期・内容は適切か。 | | ○ | | | |
| | | (3) (乳)幼児の興味や関心に基づいて地域社会・その他の他の施設と交流しているか。 | | | ○ | | |
| | | (4) 地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。 | | | ○ | | |

| 項　目 | | 内　容 | 評　価 | | | | 意見・改善策 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | A | B | C | D | |
| 開かれた保育所づくり | 子育て支援の推進 | (1) 地域の子育てセンターとして、園庭や中庭、保育室等を開放しているか。 | ○ | | | | 感染症の拡大状況を把握しながら、地域の未就学児と保護者に園庭を開放している。また、育児サロンとしてベビーマッサージと食育の講座を実施した。こうした取り組みをとおして地域の未就学児の保護者の悩みに応えられる機会を設けていきたい。 |
| | | (2) 地域に住む子どもどうし、あるいは親子が一緒に遊ぶことができるような場の設定を行っているか。 | ○ | | | | |
| | | (3) 「子育てについて」など、保護者を対象とした学習の機会を設定しているか。 | | ○ | | | |
| | | (4) 職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか。 | | ○ | | | |
| | | (5) 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供しているか。 | ○ | | | | |
| | 情報の発信 | (1) 保育所だより・クラス通信、ホームページ等で施設の情報を発信しているか。 | ○ | | | | ホームページで園庭開放や育児サロンなど地域向け情報を発信している。 |
| | | (2) 行事や子育て支援事業等を地域の連絡会や児童施設、小学校に対して周知しているか。 | | | ○ | | |
| | 外部評価 | (1) 第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか。 | ○ | | | | 第三者評価を受審し、客観的な評価を受けることが出来、運営に反映させることが出来た。保護者からのアンケートは園運営に反映させるよう努めている。 |
| | | (2) 地域や保護者の意見を施設運営に反映しているか。 | | ○ | | | |